

中宮中だより

No. 1 3

平成30年(2018年)1月9日

枚方市立中宮中学校

校長 鶴島 茂樹

<新年、あけましておめでとうございます。>

もう1月9日ということで、今さら年頭の挨拶というのもどうかとは思いますが、学校としての元旦は今日！やはり定番のご挨拶は欠かせないでしょう。

さて、昨年度末のある新聞の一面の記事の冒頭にこんな一節がありました。

「子どもはどこにいるの？」「学校です！」

これは、中東のシリアという国にある「アレッポ」という町の小中学校を紹介した記事です。シリアは長い内戦が昨年まで続き、「学校」は多くが破壊され、学ぶ権利を奪われた子どもたちの数は170万人に及ぶと言われています。

このアレッポの学校も軍の司令部として占拠されていたのですが、ようやく解放され、子どもたちが戻ってきたのです。自宅で4年間過ごして、やっと学校へ通学できるようになったある中学1年生は、「学校で勉強できるようになって、とても幸せ。人の命を救うため、将来は医者になりたい。」と語ります。

内戦のさなか、居場所を失い逃げまどっていた子どもたちが、「今は学校に居る」のです。私たちからみてごく当たり前と思われる日常が、奇跡のごとく貴重な喜びである町が世界には数多くあります。戦争は人の命だけでなく、居場所も仲間とのつながりも学ぶ権利さえも奪っていくのです。

今日、冬休みを終えて、この中宮中学校にみんなが戻ってきました。一人ひとりの居場所がここにあります。共に笑い合い、助け合える仲間がここにあります。なんとすばらしいことでしょうか。

これまで同様、これからの毎日を大切に、みんなで共に学んでいきましょう！

3学期は本当に短いけれど、総まとめの大切な学期です。特に3年生にとっては、この中宮中学校で過ごすことができるのは、休日を除くとあとたったの46日！！

勉強面では、決して無理をせず、健康に注意して生活リズムを乱さず、あたりまえに授業を大切に、あたりまえにこれまで勉強したことの総復習をすることが大切です。

そして、勉強だけでなく、これからの毎日を本当に大切に過ごしてください。泣いても笑っても、中宮中学校での最後の46日間。きっと一生心に残るであろう最後のクラス・・・

3年生！！悔いの残らぬよう最高のクラスを創り上げて、胸を張って卒業していけるよう、全力で取り組みましょう。

<保護者のみなさまへ>

いよいよ、それぞれの学年の締めくくりである3学期を迎えることになりました。本年も、昨年同様引き続き、本校教育活動に、ご支援ご協力賜りますよう、どうか宜しく願いいたします。